

事業報告書

日時	名護開催：令和2年9月17日（木）10:00～16:30 宮古島開催：令和2年12月11日（金）10:00～16:30 →令和3年1月30日（土）～2月7日（日）の期間にYouTubeでの動画配信。 令和3年2月13日（土）10:00～11:00にオンライン質疑応答会を開催。 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により変更
目的	啓発講座の受講などが限られる本島北部地域、離島地域に在住する自身のスキルアップを望む女性を対象として、様々なライフステージの中で自分の持てる能力を最大限発揮するため、ダイバーシティーマインド、マネジメント力、論理的思考力等を伸ばし、職場、家庭、地域のあらゆる場所で活躍できる人材の育成をめざすことを目的とする。
対象	女性でスキルアップに関心のある方
講師	【名護開催】 新垣 誠 氏（沖縄キリスト教学院大学人文学部長） 高田 朝子 氏（法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授） 【宮古島開催】 村山 由香里 氏（リムリムラボ代表、元福岡県男女共同参画センター長） 高田 朝子 氏（法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授）
会場	【名護開催】北部合同庁舎2階 大会議室 【宮古島開催】宮古合同庁舎2階 講堂 → YouTubeでの動画配信に変更
定員	各回20名程度
参加者	【名護開催】25名（女性25名・男性0名） 【宮古島開催】申込者42名、動画視聴回数52回（男女比不明） ※沖縄県内全域で参加者（動画視聴者）を募集した。
講演内容 (概要)	【名護開催】 新垣 誠 氏 「ジェンダー&ダイバーシティ講座」10:00～12:00 講師は多くの映像資料を紹介しながら「ジェンダー」とは生まれた時の性別によるものではなく、社会によってつくられたものであり、「女（男）だから～しなければいけない」と考えるのは「ジェンダー規範」であることを説明した上で、この規範が社会からのプレッシャーとなり、時に苦しんだり、生きづらさを感じるようになってしまう人がたくさんいる。男らしく、女らしくよりも自分らしく生きられるようになる社会が必要であると受講生に伝えた。 高田 朝子 氏 「ロジカル&コミュニケーションスキルアップ講座」13:00～16:30 講師は、最初に人から話を聞いて貰えない話し方として「価値観の押しつけ」「抽象的過ぎる」「具体性がない」「難しい言葉を使いたがる」「根拠がない」といった特徴をあげ、ロジカル（論理的）に話すことは具体的で根拠のある話し方、例えば小学5年生（10才児）が完璧に納得するように話す効果的と述べた。

「ロジカルシンキングは、自分の考え方を整理し、意思決定の精度をあげるための大事な作業です。問題の根本（原因）を知る事は大切だが、ロジカルシンキングはスキルであって、職場、家庭をマネジメントする上で最も重要なことは意思決定をすること」と受講者に伝えた。

その後、「自身の考え方の癖」を知るため、グループで「宇宙船デア」のワークを行った。人が意思決定をする時には「返報性」「コミットメントと一貫性」「社会的証明」「好意」「権威」「希少性」などが影響を与えるため、意思決定が何かに引っ張られたり、一度決めたことを変更することができなかつたりする。人間の行動には「一貫性を貫こうとする」「社会的証明を重視する」などの特性もあり、加えて「思い込みの怖さ」もあるため、自身の経験、環境から形成されるマインドセットを疑うことや、自分の考え方の癖を知る事は受講者の皆さんの武器になると話した。



新垣 誠 氏



高田 朝子 氏



会場風景

【宮古開催（YouTube 動画配信）】

村山 由香里 氏 「ジェンダー&ダイバーシティ講座」（動画 60分）

講師は25年間の会社経営のなかで、働く女性を応援する情報誌の発行や、地域で活躍する身近な女性たちの紹介・交流の場をつくることなどを行っていた。今ある自分の環境だけで過ごしているとなかなか突破口を見いだせない女性も多い中、違う環境や、違う価値観を持つ人たちと交流することによってチャンスが生まれると説明した。

また、20代の一般企業での職務、当時は女性がお茶くみをおこなったり、男性のほうが女性より頭がいいなどの考え方が浸透していたが、「はたして男女で能力に差があるのか？」と疑問をもっていたという体験談を話しつつ、そういった社会的・文化的性差や偏見・固定概念が「ジェンダー・バイアス」であると説明した。さらに私たちの心の中にも無意識のジェンダー・バイアスがあり、一部を挙げると「家庭の中では妻は夫に従うもの」「男が上で女が下」「決定するのは男性」などがある。また国会の様子を見ても日本は男性議員が圧倒的に多く、企業や地域での会議でも男性が多い。私たちは重要決定を行うのは男性という印象を無意識に持ってしまった。女性が政策・方針決定に参画することは、社会をつくるうえでとても重要であると述べた。

さらに、日本のジェンダーギャップ指数は世界153カ国中121位である事を紹介しながら、女性の政治参画の必要性を話し、クオータ制（※）などの説明をした。女性が活躍する社会になるためには、みんなが意識を変えることで、法律が変わり、社会が変わることが必要。コロナで激変したからこそ、男性も女性も働き方も含め今が変わるチャンスなのではないかと受講生に伝えた。

※議員や会社役員などの女性の割合を、あらかじめ一定数に定めて積極的に起用する制度のこと

高田 朝子 氏 「ロジカル&コミュニケーションスキルアップ講座」(動画 90 分)

第1部

コロナが収束した後は、働き方は変わったが「日本の将来設計人口」のグラフを参考に、人手不足は依然として残ることを述べグラフなどを参考にしながら、昨今の日本の社会環境の説明をした。

参考グラフ：「日本の将来設計人口」「沖縄県の入域観光客統計と沖縄県完全失業率並びに全国完全失業率」「階級別役職者に占める女性の割合の推移」「男女の育児休業取得率」など

また、現代は出産後も仕事を続ける女性が多いが、管理職への昇進を望まない女性たちも多くいる現状を述べ、その理由として、日本だけでなく世界中の女性が「自分には能力がない」と思っていることを挙げた。さらに、銀行行員を例にあげると男性職員の社歴（キャリアパス）と女性職員の社歴が異なることがあることが講師自身の研究で判明したと説明した。

その後、昇進と能力でみた女性分類の説明をしたあと、動画を中断して個人ワークを行った。

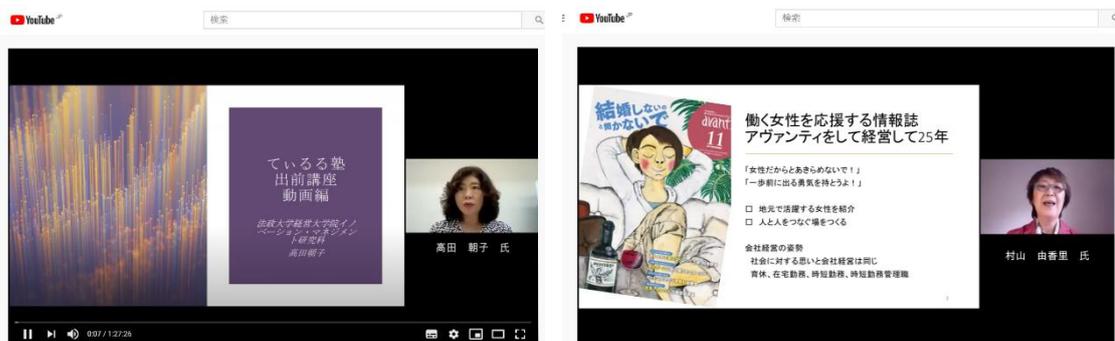
ワーク「何があればあなたが、そして多くの女性がより働きやすい環境になると考えますか。理想像から現実を踏まえたものまで自由に書き出してください」

第2部

みなさん（女性たち）を取り巻く環境の一つとして社会では「女性ならではの」というワードがあふれており、その言葉を発することで思考停止になっていることがある。大事なのは「あなたがどう思うのか」ということであると述べ、人間は少なからず思い込みをもって生活しているがそういったマインドセットを変えることが必要であると説明した。

さらに、現代の女性たちは3重苦「時間不足」「経験不足」「スキル不足」に苦しんでいる。そんななかで日本は年々人口が減っており、女性が能力を開花させて働かないと社会システムが回らないところにきており、女性が社会で活躍することを期待されていると述べた。多くの女性が働きやすい環境をつくるには、物事が変わることが必要である。その3つのエッセンスは「投下時間」「本人の能力と努力」「やり方」。その中で「やり方」は「本人の工夫」「上司の工夫」「組織の工夫」があり、自分自身で行える「本人の工夫」では、①可視化能力の強化 ②抱え込まない ③他人を頼る ④時間軸を長く考える、と説明し、「上司の工夫」としては、①ハラスメント恐怖症を脱却する ②自分が育ってきたやり方を押し付けない ③言語化能力を磨く ④リフレーミングが必要であると解説した。

最後に、最も大事な点は自信を持つこと。小さな成功体験を積み上げ、自分を褒め、小さなことを達成していくということ。そしてあなたの誠意や気持ちが伝わるよう、言語化して伝えるスキルを身に着ける。人生は長い、自分で決める人生をつくりましょう。と受講生に伝えました。



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">参加者の声</p>	<p>(自由記載欄より抜粋)</p> <p>【名護開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰ったら改めて考え方のクセを見直していこうと思います。 ・とても充実した内容の講座でした。普段なかなかできないディスカッションをすることができ刺激を受けました。コロナ禍で仕事について思い悩むところがありますが、本日の講座を受けて少し前向きになれました。ありがとうございます。 ・名護でこういう講座を受ける機会が少ないのでまた色々やってほしいです。 ・午前・午後両講座とも今後実践したいと考えさせられる内容でした。北部・離島女性のためぜひまた出前講座の開催をお願いします。新垣先生のお話は、男性向けにもぜひと思いました。 ・少し自信がついた。本日はありがとうございます。 <p>【宮古開催 (YouTube 動画配信)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの女性に見てもらいたいと思うような内容でした。 ・コロナ禍、なかなか講座などいけないが、学びが多かった。高田先生がお話されていたように、講座で誰かと会って話すも良い刺激になることを体感した。いい機会をいただきありがとうございました。 ・高田先生の講義は、私が勉強中のほめ達!の考え方と共通する部分がとても多く、非常に納得感がありました。性別を越えて受け入れられる講義だと思います。 ・ありがとうございました。こんな時に開催していただけることに感謝です。 ・直接お会いして講義を受講したかったですが、コロナ禍の中、このようなオンラインでの開催で学びの場を作って頂きありがとうございます。 ・ありがとうございました。今回、オンライン配信だった為に時間と場所の縛りがなく参加する事ができました。今後とも宜しく願いいたします。
<p>主催等</p>	<p>主催：沖縄県・(公財)おきなわ女性財団</p>